

住民のための の市政を！！

ごうつ民報

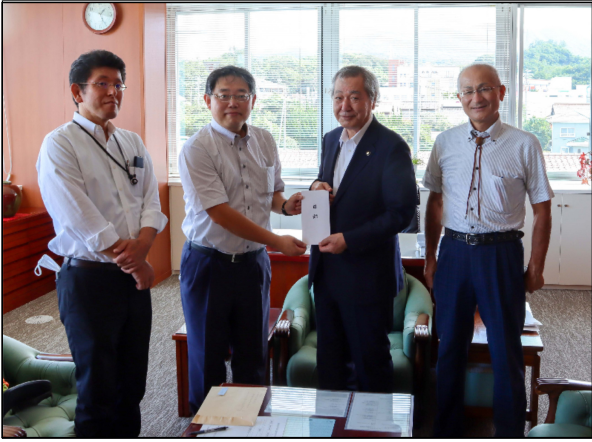
日本共産党江津市委員会
 電話 52-2633
 FAX 52-7244
 NO. 2465
 2021年9月12日

日本共産党島根県西部地区委員会 江津市へ災害義援金

6日、日本共産党が全国で募った災害被災者への義援金を、党島根県西部地区委員会のみこせ慎一委員長が江津市へ届けました。

義援金目録を 市長に手渡す

山下市長へ全国から集められた義援金(30万円)の目録を、党を代表してむこせ慎一委員長が直接手渡しました。山下市長は「被災者支援に使わせてもらいます」と謝意を述べました。



党江津市議団の森川よしひで市議・多田伸治市議が同席しました。

災害対策について 市長と懇談

懇談でむこせ委員長は、八戸川の災害復旧工事でかさ上げされた堤防が、大きな成果を発揮したことに触れ、江の川本流の無堤防地区での築堤事業の推進を求めました。また、今回の災害では内水による浸水被害が目立つことから、堤防が整備された地域への内水排除のポンプ設置、今後築堤される地域では堤防とセツトでのポンプの設置を求め、江の川支流へのバックウォーター(逆流)対策についても、意見を述べました。

山下市長は「今回の災害では、長期間・断続的に上流域でも

下流域でも降雨があり、無堤防地区やポンプ車を配備できなかった地区で、家屋の浸水被害が多く発生した」と語り、内水排除のポンプの必要性を述べ、ポンプ車の増車や適切な配置、小規模排水路の内水排除のためのポンプ導入について、国・県と協議するとし、バックウォーター対策にも取り組むことを強調しました。

市内の被害状況

8月12日からの豪雨災害での市内の被害は、住家の床上浸水4戸・床下浸水15戸、非住家の床上浸水3戸・床下浸水23戸、市道32カ所・市河川15カ所・農道8路線・水路4カ所・林道17路線・作業道1路線が被災。農地160haが冠水し、農業用施設被害額は1億3970万円と見積もられています。

年金者組合が市議会へ陳情 加齢性難聴者の補聴器購入費 助成制度の創設を求める

9月定例会へ陳情

全日本年金者組合石見支部(以下、年金者組合)が、9月定例会開会にあわせて市議会へ陳情書を提出しました。

陳情内容は以下の2点です。

1 江津市中・軽度加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度を創設して

陳情では、高齢社会の到来にともない、高齢者が多方面にわたり活躍する時代を迎えているなか、

低い補聴器所有率

2 国に対し、加齢性難聴者補聴器購入に公的助成制度の創設を求める意見書を提出してください。

加齢による中・軽度の難聴者が増加傾向にあり、補聴器を必要とする高齢者が増えているとされています。

実際に、全国の難聴者約1430万人(一般社団法人日本補聴器工業会調べ)による2018年の推計値)に対し、補聴器所有者は約210万人で所有率は14.4%となっており、ヨーロッパの先進国での所有率37〜48%に比べて、極端に低い状況です。

現状で、補聴器購入の助成制度は、障がい者手帳所持者に限定された医療助成制度があるのみで、中・軽度の加齢性難聴者を対象とした補助制度はありません。また、補聴器の価格は1台5万〜50万円と高額なため、低年金・無年金の高齢者の多くは、必要でも購入できません。

難聴がうつ病・認知症の原因にも

近年では「聞こえにくいこと」がうつ病や認知症の危険因子となること、早期発見が難聴の進行を遅らせることが明らかに

なっています。今後、高齢者による補聴器の所有・使用が広がれば、高齢者と地域との関わりを強化し、高齢者の孤立を防止することや、健康寿命の延伸・医療費の抑制にもつながります。

県西部での取り組み

年金者組合では、浜田市議会にも請願書を提出し、市長交渉も行っています。

また、益田市議会へは2年前に請願しており、今年に入ってから市への申し入れも行っています。その際に同席した日本共産党の安達みつ子市議が助成制度創設を求めたのに対して、益田市は「検討に入る」と回答しました。

悩み・困りごと
ご相談ください

森川よしひで
090-7379-1554

多田伸治
090-6014-2259

江津市議会 議会活性化の一環 一般質問への答弁「検討する」のその後

年4回の市議会定例会では、議員による一般質問が行われます。ただ、質問への答弁はすぐに結果に結び付くとは限りません。そのため、江津市議会では議会活性化の一環として、質問のその後を確認する取り組みを始めました。

視察先の取り組みを参考に実施

「質問のその後を確認する」とは、質問の際の市長・市執行部からの「検討する」

いた取り組みを参考にしたいもので、今年の3月定例会での一般質問から適用されていました。

4つの「検討結果」

一般質問で「検討する」と答弁を受けた議員が、質問後に申告することによって報告されることとなっており、3月定例会での申告は日本共産党江津市議団の多田伸治市議からの4件でした。9月定例会開会直前の8月26日に、市長から議会へ報告がありました。今回の報告

告は以下の通りです。

①街路灯の設置

市民から要望のある市内4カ所への街路灯の設置を求めた質問に、「付近の状況などを精査し、関係機関などとも相談しながら、必要な箇所へは道路照明等設置基準に照らし、設置を検討する」と答弁。

②門灯・玄関灯への補助

街路灯を設置する代わりに、通学路沿いの住宅で門

灯・玄関灯を設置してもらえよう、補助制度の創設を求めた質問に、「江津市通学路安全推進会議の中で様々な協議をしていく必要がある」と答弁。

③道路補修の通報

今秋に開催予定の江津市通学路安全推進会議の中で、提案について協議します。

④公園遊具の不具合

公園遊具の不具合があった場合に、利用者から連絡をもらえるよう、遊具に電話番号やQRコードを貼り付ける、または通報アプリを導入するよう提案した質問に、「管理者不在の公園に、異常時の連絡先が掲示されていないため、看板設置を検討する」「SNSによる情報発信が多くなっている状況から、意見・情報の収集方法について、検討が必要」と答弁。

のんちゃんとは、保護ネコです。我が家で飼っている保護ネコです。

のんちゃんは数年前、玄関先で必死で鳴いていたところを見つけてきました。ガリガリに痩せてあばら骨が見えるので、お腹が空いていることはすぐにわかりました。先輩保護ネコの茶々のエサを容器に入れて差し出そうとすると、毛を逆立て

のんちゃんとクッキー

最初から野良で生きているネコも大変だけど、飼われていたのが飼い主を失うと、さらに厳しいに違いありません。どんな事情があつたのだろうと思いつつ、まずは体力をつけて、お金のやりくりをしながら不妊手術

がら食べました。

そんな日が何日か続きましたが、体をなでも平気になり、膝に乗ってくれようになつた頃、首輪の跡がしつかり残っていることに気が付きました。どこかの家で飼われていたのです。

術をすることにしました。

しばらくするうちに顔が穏やかになり、痩せて細長く感じた体がネコらしくなつたので、のんちゃんと名前をつけ動物病院に連れて行きました。手術が終わり約東の日にのんちゃんを迎え

「野良猫にエサをやらないうで」という閲覧板が回ってきます。でも「助けて」とやって来た命を見過ごすわけにいきません。野良ネコを増やさないと命に優しい施策を行政にも求めます。9月20日から26日は動物愛護週間です。

山崎漳子

かっただですが、のんちゃん

は2回ももっと痛い目にあいながら健気に耐えたので、すから、仕方ありません。すつかり元気になった今、のんちゃんの後輩保護ネコのクッキーのお母さん役を立派にこなしています。

徒から意見・要望を聴き取る仕組みについては、今後校長会でも提案して、学校とともに考えたい」と答弁。

④公園遊具の不具合

管理者不在の9公園で、10カ所に看板を設置しました。不具合通報アプリは開発・維持の費用が高額で導入が困難なため、市ホームページからの問い合わせをお願いします。

お悔やみ申しあげます (敬称略)

2日	島崎和子 (84)	有福温泉町
4日	小林久夫 (99)	敬川町
8日	福間澄子 (94)	黒松町
7日	森山禎夫 (76)	浅利町